

令和6年度第3回旭川市子ども・子育て審議会 議事概要

○開催日時

令和7年3月11日（火） 18:30～19:33

○開催場所

旭川市総合庁舎7階 大会議室B

○出席委員（16名）

旭委員、荒木閑委員、貝沼委員、片桐委員、川西委員、楠井委員、後藤委員、小山委員、佐々木千夏委員、田中委員、中嶋委員、長島委員、長野委員、中村委員、西田委員、猫山委員

○欠席委員（4名）

赤坂委員、小野委員、佐々木純江委員、多々納委員

○事務局（6名）

向井子育て支援部長

子育て支援課 香川課長、高橋主幹、川口主査、浅沼主査

子育て助成課 田上課長

○傍聴者（0名）

○概要

1 開会

2 議事

（1）報告事項

《報告事項ア 「旭川市こども計画（案）」に対する意見提出手続の結果について》

（A委員）

報告事項ア「旭川市こども計画（案）」に対する意見提出手続の結果について」事務局から説明願う。

（事務局）

資料に基づき、事務局説明。

（A委員）

このことについて委員の皆様から質問・意見等はあるか。

（B委員）

推進指標にニーズ調査の結果が使われているが、ニーズ調査では、未就学と小学生の保護者に調査を行っており、中学生、高校生を育てる保護者の意見があまり反映されていないと思う。子育てをしていると、こどもが小さい時は各種補助が受けられ、相談する場所も充実しているが、中学、高校の多感な時期については、相談する場所が少ないように感じる。

意見提出手続については、所属団体でも周知をしたが、何が聞きたいのか分からないという意見が多かった。また、多感な時期のこどもに手を差し伸べてくれる環境を望むとい

う意見を出した人がいたが、計画への反映は難しいのか。

(事務局)

ライフステージを通してこども、若者が健やかに成長できるよう切れ目なく、支援だけでなく、共に進めていこうというのが、国の掲げていることであり、市としても計画で大事にしているところである。それを計画を通じて進めていくことが、今後の課題であると考えている。

推進指標については、計画策定に伴い、改めて指標を設定し現状値を計ることが理想ではあるが、事前の予算措置等も必要な中で、現在把握できている数値を有効に活用しながら指標を設定したところである。

中高生や若者については、相談体制や居場所づくりについて十分ではなかったと課題認識を持っている。次年度に向けては求められる相談体制や居場所についても調査しながら、今後の展開について考えていきたい。

(C委員)

所属団体でパブリックコメントの募集について周知を行った。先ほどの説明でパブリックコメントの結果について、取扱いに留意いただきたいとの話があったが、所属団体への情報提供は可能か。また、可能となる時期はいつか教えていただきたい。

(事務局)

審議会後に内部手続を経て、公表する予定である。意見をいただいた方の氏名等は公表しないが、いただいた意見とそれに対する回答は公表する予定である。

(2) 協議事項

《協議事項ア 「旭川市こども計画(案)」の答申について》

(A委員)

旭川市こども計画策定部会での審議結果について、部会長から説明願う。

(D委員)

資料に基づき、策定部会での審議結果を説明。

(A委員)

答申内容の審議について、部会の報告を踏まえ、答申案をこの場でお示しし、協議することとしたいがよいか。(委員了承)

(答申(案)配付)

(答申(案)について、事務局読み上げ)

(A委員)

答申案について、委員の皆様から意見等はあるか。

(C委員)

2ページ目の(2)子育て支援に係る内容の周知で、広報誌「あさひばし」の漢字が異なるので修正願う。

(E委員)

部会でも意見させていただいたが、どこかに旭川らしさを生かした視点があるとよいと考える。「地域の特性を生かした」といった文言が入るとよいと思う。

(A委員)

いただいた意見を基に答申案を修正したいと思う。内容については、会長に一任願えるか。(委員了承)

3 その他

(A委員)

第2回審議会で報告いただいた「令和7年度子育て支援部予算要求について」に関わり、事務局から報告願う。

(事務局)

予算要求に関わり、子ども医療費の対象拡大について、事務局説明。

(A委員)

ただいまの説明について、委員の皆様から意見等はあるか。

(F委員)

高校生年代とは、18歳までということか。

(事務局)

18歳になった年度の3月までとしている。

(A委員)

以上で予定していた審議は終了するが、他に発言はあるか。

なければ、これで閉会とする。

4 閉会